よう

YOU 来た通信

第 55 号

編集：発行
土佐清水市企画財政課
地域づくり支援係
移住促進担当

ホームページ　Facebook　Instagram　X（Twitter）

住　所：土佐清水市天神町 11 番２号
ＴＥＬ：0880-82-1181
ＦＡＸ：0880-82-2882
メール：iju@city.tosashimizu.lg.jp

まだまだ寒い毎日が続きますね。
春の訪れとともに、皆さまに穏やかな
日々が訪れますよう
お祈り申し上げます。

土佐清水市 イベント情報

◆第 19 回花へんろ足摺温泉ジョン万ウオーク

日　時：２月１４日（土）８：２０受付開始　９：００出発
　　２月１５日（日）７：３０受付開始　８：００出発
参加費：一般２，４００円／中・高校生１，４００円　※当日参加 OK
★本大会は、土佐清水市民および小学生以下は参加費無料です！
スタート・ゴール：足摺岬市営駐車場
お問い合わせ先：観光商工課観光係（0880-82-1212）

◆竜串奇岩フェスティバル

※詳細は未定ですが、たくさんの催し物や屋台の出店を予定しております♪
日時：３月１５日（日）１０：００～１５：００
場所：海のギャラリー（土佐清水市竜串 23-8）
お問い合わせ先：土佐清水市観光協会（0880-82-3155）

✨幡多の「みりょく展」開催！✨

「2026 土佐清水のみりょく展」
２月 21 日（土）～3 月 22 日（日）　竜串ビジターセンター うみのわ

「おおつきのみりょく展」
２月８日（日）～３月２２日（日）　文化教育交流拠点 ＣＯＳＡ

「みんなでつくる 宿毛の魅力展」
３月７日（土）～３月２２日（日）　宿毛まちのえき 林邸

３つの「みりょく展」に参加すると、「ものづくり体験の無料参加券」がもらえるよ！

ぜひ、遊びに来てね♪

就農支援説明会に同行してきました！

先日、四万十市の幡多農業高等学校に、就農支援についての説明会に行ってきました。農業の仕事や就農の流れについて、できるだけ身近に感じてもらえるようにお話ししました。

実際に農業に関わっている人たちが、さまざまな人生の選択を重ねた先で、農業にたどり着いたこと。一度は別の道を歩いたからこそ出会える仕事でもあります。

そのことを、少しでも感じてもらえていたら嬉しいです。

進学や就職で地元を離れることも、決して遠回りではありません。外で得た経験を胸に、いつかまたこの地域に戻り、地域に関わり、支えてくれる未来があることを願っています☆彡　　これからも、若い世代と地域をつなぐ取り組みを続けていきます。

集楽活動センター

「下川D家」で働いてくれる人、大募集！

【集落支援員】1名

年齢：不問　　雇用期間：最長３年（1年毎に更新）
勤務：原則週４日間（原則 8:30～17:00）※所定より下回った場合は減額
報酬：172,645円（初年度）※期末・勤勉手当あり
その他：住宅補助あり（土佐清水市在住に限り、月40,000円まで）

地元の方！お待ちしております！

【地域おこし協力隊】1名

年齢：原則20歳以上～50歳未満　　雇用期間：最長３年（1年毎に更新）
勤務：原則週４日間（原則 8:30～17:00）※所定より下回った場合は減額
報酬：172,645円（初年度）※期末・勤勉手当あり
その他：総務省の地域要件を満たす方で、住民票を土佐清水市に異動できる方
住宅補助あり（月40,000円まで）

お問い合わせ先
土佐清水市役所企画財政課
地域づくり支援係
TEL：0880－82－1181

移住者インタビュー

お名前：西堀（にしぼり）　潤（じゅん）さん（64歳）

出身地：京都府

移住時期：2024年 7月（東京より）

移住前は東京で建設関係の
仕事に就いていたそう

Q：移住を考え始めたきっかけは？

移住前は東京で働いていて、定年後も６５歳くらいまでは働く気でいたんだけど、それまで一緒にいたパートナーと別れることになり、「東京にいる理由もないなぁ」と思ったのがきっかけかもしれません。両親も他界しているので京都に帰る気は全くありませんでした。

Q：土佐清水市を選んだ理由は？

趣味の自転車で全国いろいろ行ったけど、やっぱり四国の印象が一番良くて、自転車に乗るなら絶対「四国」だなと。そこから行き先が四国に絞られて、ちょうど有楽町であった移住フェアで井上さんやジェイソンと出会って「土佐清水市」を知ったという感じです。その後調べたら、ロードバイクの自転車屋もある！で、遊びに行き、２回目には窪津大敷の林さんも入りみんなで飲んでました。

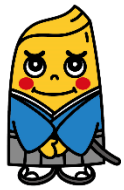
Q：移住してみてどうですか？

不便さはあるけど、その不便さもけっこう好きなので。東京にいた時よりもはるかに「自分らしく」生き生き生きているなと思ってます。意外と刺激も多くて、面白いことや興味をそそられることがいっぱいありますよ。定年のいい年で来たはずなのに、土佐清水では僕は若者になるんですよ！だからタイムスリップしたみたいな、若返った気になります😊それに東京にいた時よりも英語を使うし、毎日いろいろ忙しいんですよ

Q：移住を考えている人へ

どんどん自分から入っていくことですね。
あとはやりたいことをやればいい！何でもマイナスに受け止めないで。田舎の不便も楽しいって思えれば楽しいわけで、お節介も干渉されてると思わずに愛だと思えばいいんですよ。

西堀さんは町内行事や福祉活動など、たくさんの地域貢献をしてくださっていて、今では土佐清水になくてはならない人です！
インタビューありがとうございました！



移住者インタビュー

お名前：久松（ひさまつ）　厚紀（あつき）さん（43歳）
（出身地：土佐清水市出身）
お名前：久松（ひさまつ）　舞子（まいこ）さん（42歳）
（出身地：大阪府）
移住時期：2024年 3月

Q：移住を考え始めたきっかけは？

夫からの『祖父の代から続くパン屋をなくしたくない』の相談に素直に「いいやん！」と移住を決めました。大阪での夫は、立ち飲み屋をしていたため昼夜逆転の生活。家族で一緒に過ごす時間がもてないことが悩みでした。でも、パン屋なら家族で過ごす時間がもてるし、豊かな自然の中での子育て！「それってめっちゃいいやん！行こう！」ってなりました✨

Q：移住してみてどうですか？

引っ越しは、長男が小学校に入学するタイミングですることに。生活がガラリと変わるので子供たちのことを心配していましたが、親の心配をよそにスッと馴染んでくれました😊

私もパン屋を手伝うことになり、はじめは緊張の日々でいろいろと覚えることも多く苦労しましたが、夫やお義父さん、スタッフのみんなが優しくフォローしてくれ、今では毎日楽しく過ごしています。

Q：移住して良かったこと/苦労したことは？

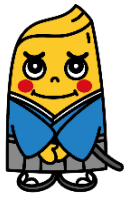
念願の家族で過ごす時間が増えました！あとは景色が最高！保育園の送迎やパンの配達時など、日々生活する中で自然に癒されています🌊海や川にもサクッと行ける。そして、どこに行っても混んでいない！大阪ではどこに行っても待たされるので。

苦労したことは・・・虫が多いこと。これにはなかなか慣れません🍀

家族でイベントにも出店！

Q：移住を考えている人へ

都会と比べると、もちろん不便です。だけど日々の生活で困ることはそんなにないです。人もあたたかく面白い人たちばかり。いい意味で人との距離の近さが嬉しいです🍀

ぜひ一度、土佐清水市に遊びに来て人や自然に触れてみてください😊

ポミエは土佐清水市民にとって大切なパン屋さん。みんなに愛されてきたこの味をこれからも次の世代に焼き続けてほしいですね。
インタビューありがとうございました！